



7月号

令和5年7月1日

神根小だより

川口市立神根小学校

在籍児童292名16学級



命の守り方

校長 篠崎 弘敬

6月には、5年生と共に千葉県富津市にある大貫海浜学園に行って参りました。天候にも恵まれサンドアートや貝拾い、キャンドルファイヤー、ハイキング等有意義な活動を行うことができました。コロナの規制のかかる行事が多かった中、久しぶりに規制のかからない学校行事に子供たちは大変喜び、大貫の自然を満喫していました。大貫海浜学園の宿泊は、家族旅行のような快適な環境とは違います。食事の準備や宿泊する準備等を自分たちでしなければなりません。友達と協力して布団を敷いたり2人組でシーツを畳んだり日頃中々経験できないことを経験します。友達と協力して泊を共にする体験は大変貴重で子供達の心に残るものでした。

大貫海浜学園では、集団生活だけでなく命の尊さについても学びます。副学園長の石井先生から昭和59年に殉職された金子校長先生のお話を聞きました。金子校長先生は、高波にさらわれた子供を全員助け途中力尽き、自らの命を落としました。自分の命と引き換えに子供の命を守ったのです。子供たちは、真剣にこの話を聞いていました。海辺活動の後、拾った貝を一人一つ金子校長先生の慰霊碑に供えました。一人一人感じ取ったことは違うと思いますが、命の尊さについて学ぶ貴重な機会になりました。私自身も身の引き締まる思いでこの話を聞き胸が熱くなりました。

学校教育の中でも「命の大切さ」について学ぶこと、そして「自分の命は自分で守る」ことについて教えることが重要であると考えています。学校では、7月に着衣水泳について指導を行います。落水時における身の守り方を身に付けて欲しいと思います。卒業時まで全員1回は経験させていきたいと考えています。この他にも交通安全教室や不審者に対応した防犯教室、こども110番の家の確認等を行っていきます。また日々の安全指導を充実させ「命の大切さ」と「自分の命は自分で守る」ことを学ばせていきたいと考えています。これは、大変手間のかかる仕事ではありますが、年間の計画の中に位置づけ根気強く取り組んでいこうと考えております。

学校の教育だけでは、「命の大切さ」と「自分の命は自分で守る」ことを子供たちに浸透させていくことは難しいと考えております。是非保護者の皆様にも折に触れ、命の尊さについて語りかけてください。また、夏休みに山や海、川、街中に出掛けることもあるかと思えます。その時に危険から身を守る術を教えてあげてください。学校と保護者が共通の認識を持ち教育することで効果が上がりそれが子供たちの安全にも繋がると思います。あと3週間で今学期も終わります。いよいよ子供たちの楽しみにしている夏休みになります。休み中事故に合わぬよう十分気をつけていただき楽しい夏休みにしてください。

明治6年開校 やる気と根気で夢をかなえる神根っ子

かしこい子
みんな仲良く
助け合う子
ねばりづよい子

150
ANNIVERSARY

川口市立神根小学校